

企画名	大堀川わくわくウォーキング
実施団体	団体名 大堀川の水辺をきれいにする会 問合せ先 深津 章文 TEL: 090-3436-9724 Email: akmomo0613@true.ocn.ne.jp ホームページ: http://ohorigawa.ciao.jp/
目的	市民の皆さんに、大堀川が注ぐ手賀沼に、より親しみを持っていただく。
日時	2024 年 9 月 29 日（日）9:00～12:30
プログラム・概要・ルート等	こんぶくろ池管理棟（集合）⇒こんぶくろ池⇒16号線横断⇒正連寺地区香取神社 ⇒北部1号調整池⇒柏公設市場⇒松葉町第二近隣公園（休憩）⇒地金堀合流点 ⇒木崎橋⇒当会の花壇⇒北柏橋常夜燈⇒北柏駅（解散） [約8km]
参加対象	先着30名 小学生以下は保護者同伴
参加人数	一般参加13名（大人12名、大学生1名） 会員スタッフ5名 計18名

実施風景



参加者や実施団体の感想	暑さも和らぎ、薄曇りで秋の気配も漂う中、参加者13名（その他会員5名）を迎えて約3時間半の楽しいウォーキングとなりました。地金堀起点のこんぶくろ池と弁天池についての説明を NPO 法人理事長から頂きつつ、園内を散策しました。大変貴重な植物や生物がここに存在していることと、その貴重さを再認識しました。大堀川との合流点では「ここに来ていたんだあ」の声も聞かれ、有意義な半日でした。
-------------	--

企画名	手賀沼親子自然観察会－手賀沼用水路で魚とり！（柏）
実施団体	団体名 手賀沼水生生物研究会 問合せ先 半沢裕子 TEL: 090-7243-6720 Email: fukuchang23@yahoo.co.jp ホームページ: http://suiken.teganuma.org/
目的	手賀沼の水辺の生きものについて、子どもたちや親に知ってもらう。
日時	2024 年 10 月 19 日（土）10:00～12:00 手賀沼 沼南側ヒドリ橋たもと
プログラム・概要・ルート等	・鈴木盛智代表から本日の予定、講師の鈴木規慈さん(魚類研究者)から魚のとり方、モンドリやガサガサの説明。 ・モンドリを仕掛ける ⇒タモ網で魚採り ⇒モンドリを引き上げ ⇒魚の分類。 ・講師の鈴木規慈さんによる解説。採れた魚やエビについて、魚の見分け方、外来種(外国産、国内移入種)はどれか、どこから来たのかなど。
参加対象	小学生以下は親子参加
参加人数	参加者 30 名(大人 15 名、子ども 15 名)、スタッフ 18 名（会員 17 名、講師 1 名）
     左上/まず最初、バケツリレーで水汲みしミニ水槽に 左下/ガサガサ中、 中上/何がとれたかな 中下/しっかり観察してます 上/わかる人！ ハーイ!! 今年の皆さんも超熱心でした	
参加者や実施団体の感想	・今回も熱心な親子さんが集まってくれて、とても充実した観察会になった。 ・募集方法を変更していただいたおかげで、予定の参加者により開催できた。 ・6月に水路を埋め尽くしていたナガエツルノゲイトウはさらに密度を増し、ガサガサのため水路片側をあけることも困難になった。また、水面から立ち上がったナガエツルノゲイトウが水路脇の芝地で陸地化していた。 ・とれた生き物は種数も個体数もこれまでで最も少なく、状態はさらに悪化している。 ・6月に続き、この日もハゼ類が1匹もとれなかった。 ・カエルは移入種のヌマガエルのみで、すごい数がとれ、まわり中に生息していた。 <この日確認した水生生物> ・在来種/モツゴ、ミナミメダカ、ドジョウ、スジエビ、テナガエビ、ハイイロゲンゴロウ、ヒメガムシ、 ・国内外来種/ツチフキ、ヌマガエル ・国外外来種/クサガメ、シナヌマエビ、タイリクバラタナゴ(重点対策外来種)、カダヤシ(特定外来生物)

企画名	せっけんの街と手賀沼の水を巡る旅
実施団体	団体名 特定非営利活動法人せっけんの街 問合せ先 道端園枝 TEL: 04-7134-0463 Email: info@sekkennomachi.org ホームページ: https://sekkennomachi.org
目的	生活排水の汚れを改善したいと、リサイクルせっけん工場が建設され 40 年。下水道整備が進みましたが、改めて水の巡りについて考える機会とします。
日時	2024 年 10 月 19 日（土）10:00～16:40
プログラム・概要・ルート等	★<u>手賀沼公園から遊覧船で船上見学</u>。講師は美しい手賀沼を愛する市民の連合会長の八鍬雅子氏。風光明媚な手賀沼は人々の憩いの場でした。昭和期のディズニーランド計画は、水質の悪化等で中止に。3.11 原発事故から 13 年、漁業も再開したとのこと。カワウが船を追いかけて、ハクレンが飛び上がり、参加者から歓声が上がりました。 ★<u>水の館で昼食後バスでこんぶくろ池自然の森へ</u>。講師から、昔の人はエゴノキの種子を洗濯に使っていたことや、手賀沼の源流の一つであるこんぶくろ池周辺の歴史、森の成り立ちや生物多様性の重要性、また近年問題になっている檜枯れの対策などを聞き、水の涵養についての理解を深めました。 ★<u>NPO せっけんの街のリサイクルせっけん工場を見学</u>。50 年前からの手賀沼の水質悪化に、市民が浄化に向けての請願をし、出資を募り工場ができたこと、使った水をきれいにして還す方法、せっけんと合成洗剤の違いなどについて説明しました。
参加対象	小学 3 年生以下は保護者同伴
参加人数	一般参加 16 名（大人 8 名、幼児 2 名、小学 5 名、中学 1 名） スタッフ 11 名（会員 5 名、内部講師 3 名、外部講師 3 名） 計 27 名
 初めて乗った！  ここが源流？！  せっけんの大きな釜！  水を入れて振ると昔のせっけんさ！  珍しいキノコも見たよ！  使った水はきれいにして還そうね	
参加者や実施団体の感想	参加者：★汚れた手賀沼の水が再生してきたのは、行政が政策を主導したことも大事だが、市民一人ひとりの行動変容と自然の持つ浄化能力によるところが大きいのではないかと感じた。★せっけんを使ってみたいと思った。 実施団体：やや行程が長いかなと思ったが、水が循環していること、水を使っている一人ひとりができるだけ汚さないように気をつけることが大切なこと、などをきちんと伝えることができた。

企画名	きのこ観察会（こんぶくろ池自然博物公園）
実施団体	団体名 NPO 法人こんぶくろ池自然の森 問合せ先 川瀬美幸 TEL: 090-8495-0050 Email: demii02250114@gmail.com ホームページ: http://www.konbukuroike.com/
目的	きのこの多様性や、きのこ森のかかわりやきのこを通して森の変化を観察する。
日時	2024 年 10 月 20 日（日）10:00～12:00
プログラム・概要・ルート等	きのこ観察会（講師 2 名） 参加者集合後、NPO 紹介や安全についての説明を行い、講師紹介後 2 班に分かれて園路を散策しながらきのこを探して採取した。園路から戻り、管理棟前のテーブルにて採取したきのこの並べて、それぞれの講師から採集したきのこの説明や、森とのかかわりや生態について詳しく解説をしていただく。今回、講師や大学院生の協力で DNA サンプル採取と解析を行い、2001 年からのきのこ調査で初めて DNA 分類を記録予定。
参加対象	どなたでも（小学生以下は保護者同伴）
参加人数	一般参加 28 名（大人 15 名、子ども 13 名） スタッフ 27 名（講師 2 名、会員 22 名、大学院生有志 3 名） 計 55 名

今年は晴れました！



きのこの特徴を観察します



きのこみつけ！



きのこ（菌類）は森でどんな生活をしているのかな？



参加者や
実施団体の
感想

・親子で楽しくきのこを探して観察することができてとても充実した時間でした。講師の方々には優しく丁寧に説明いただき、大変勉強になりました。また参加したいと思いました。（参加者）
 ・きのこの不思議な生態や形、色、種類の多さとそれに対しての先生たちの解説が面白く、毎年参加したい！と思えるほど好きな観察会の一つです。（参加者）

企画名	テガヌマウィークエンド「水辺の植物クイズラリー」
実施団体	団体名 手賀沼アグリビジネスパーク事業推進協議会 問合せ先 鈴木亮平 TEL: 070-8385-3599 Email: teganumawekend@gmail.com ホームページ: https://teganumawekend.com/
目的	手賀沼フィッシングセンターの来訪者に、手賀沼の環境・生きものに目を向けてもらう。
日時	2024 年 10 月 5 日, 6 日, 12 日, 13 日, 14 日, 19 日, 20 日, 26 日 10:00～16:00
プログラム・概要・ルート等	手賀沼フィッシングセンター及びその周辺に、手賀沼の水辺の植物に関わるクイズパネルを設置し、ラリー形式で巡る。 「地図」を釣り堀受付で受け取りラリーをスタート。以下の5箇所を巡る。 ① ミライいのち池横 ② 手賀沼フィッシングセンター入口前緑道 ③ 曙橋横 ④ 手賀沼ふれあい緑道水路横 「地図」の回答欄に記入したら、釣り堀入り口で「解答書」と「景品（駄菓子セット）」を受け取り終了。 クイズパネル及び解答書は添付の別紙を参照。
参加対象	手賀沼フィッシングセンター来場者（メインターゲットはファミリー世帯）
参加人数	一般参加 100 名（景品の配布数）※正確に内訳をカウントはしていないが、未就学児～小学校低学年とその保護者の参加が多かった。

① ミライいのち池横



③ 曙橋横



水辺の植物クイズラリー ～冒険の書～

5つのポイントを探索し回って、クイズに挑戦しよう！
全問正解して景品に当たったら、景品（駄菓子）と「緑の書」をもらってOK！
手賀沼の水辺にはどんな植物があるのかな？手賀沼の「水」を覗いてみよう！

目標値
第1問 第2問 第3問 第4問



④ 手賀沼ふれあい緑道水路横



参加者や実施団体の感想

一昨年の「歴史」、昨年の「生きもの」に続き今年は「水辺の植物」をテーマに実施した。生きもののすみかを考える上では、水草等の植物が重要な役割を担うため、シリーズとして楽しめるコンテンツになったと考えている。今年は天気の悪い日が多かったが、子ども達には楽しんでもらえた。これまでのクイズパネルを活用し、春休みや夏休みにも楽しんでもらえるように実施していきたい。